

雪 の 子

ハ調 $\frac{2}{4}$

曲 梁 田 貞
歌 内 海 繁 太 郎

0	5	6	5	1̇	0	5	0	5	5	6	5	1̇	0	5	0
	ユ	キ	ヤ	コ	ン	コ	ン	ア	ラ	レ	ヤ	コ	ン	コ	ン
0	5	4	3	2	1	2	3	4	5	6	7	6	5	—	
	ボ	ク	ラ	ハ	ユ	キ	ノ	コ	ウ	レ	シ	イ	ナ		
0	5	4	5	2	0	7	6	7	5						
	モ	ツ	ト	フ	レ	モ	ツ	ト	フ	レ					
0	2̇	1̇	7	6	5	4	5	0	5	0	5	0	5	0	0
	ズ	ン	ズ	ン	ズ	ン	ツ	モ	レ						
3	3	4	5	5	6	5	5	1̇	1̇	1̇					
ム	カ	—	フ	ノ	—	オ	ヤ	マ	モ						
1	1	2	3	2	3	2	3	5	2	0					
ウ	ヅ	—	メ	—	テ	—	シ	マ	ヘ						
3	3	4	5	5	6	5	5	1̇	1̇	1̇					
コ	チ	—	ラ	ノ	—	オ	ウ	チ	モ						
1	7	1	2	1	6	5	4	3	2	1					
ウ	ヅ	—	メ	—	テ	—	シ	マ	ヘ						

○ 歌 曲

表 情 遊 戯 雪 の 子

表 情 遊 戯 雪 の 子

振 作 作
付 曲 歌

内 海 繁 太 郎
梁 田 貞 郎
土 川 三 郎

雪やこんく
あられやこんく
僕らは雪の子嬉らしいな
もつとふれ
もつとふれ
ちんちんちんつもれ
向のお山も
うずめてしまへ
こちらのお家も
うずめてしまへ
雪やこんく
あられやこんく
僕らは雪の子嬉しいな。

ゆきや……左足一歩左へ上體を少しく左上に引き伸ばす如

くす

こんく……顔を左上に向け兩手を斜左上方にあげて、手

頸を回轉すること二回

あられや……ゆきやと同じことを左方に行ふ

こんく……顔を右上に向け兩手を斜にあげて 手頸を回

轉すること二回

ぼくらは……右足を左足に揃へ兩拳を握り兩側より胸前に

揃へ少しく脛を張る

雪の子……一跳躍兩足を開くと同時に兩拳を左右側斜下方

に張る

うれしいな……兩手先きを口の處に持ち來り掌を向ふに向

け兩脛を少しく高く左右に張り 左肩を下げ右上

を見つゝ左へ三步「な」にて兩手を自然に左右に

開く

もつと……右足を斜右前方に出し體を其方向に伸ばし兩手

を斜右上方にあぐ

ふれ 兩手を内方より外方へと二回振る

表情遊戯雪の子

もつとふ ……同じことを左方に行ふ

ずん……兩手を前に掌を下に兩踵をあぐると共に兩手を柔

かにふわりとあぐ

ずんずん……左足を引き 蹲踞すると共に兩手を下ぐ

つもれ……立つと共に兩手を靜かに上げつゝ少しく左右に

開く

むかうの……全生手をつなぎ(軽く)左上方を見つゝ左へ

四歩

こやまも……左足更に一歩左へ出しつなぎたる手を其まゝ

斜左上方にあぐ

うづめて……兩手を右下に送りつゝ右足を後方に引くと共

に蹲踞し上體を左下に伏せて左下を見る

しまへ……立ちて正面を向きつゝ足踏三回

こちらの……「むかうの」と同じことを右方に行ふ

おうちも……「こやまも」と同じことを右方に行ふ

うづめて……兩手を左下に送りつゝ左 後方で引く共に

蹲踞し上體を右下に伏せて右下を見る

しまへ……前の「しまへ」と同じ

九九

雪やこんく

あられやこんく

ぼくらはゆきの子

うれしいな……前に左方に行きたるを最後の此の時は

……前に同じ

右方へ行き 右肩を下げ左上方を見る

「な」は延聲記號あり こゝは兩手を始めのより

更に大きく開く

妙な子守唄

金子彦二郎

んで、つく杖さへ重たげな風情。

行けどもく果てしなくつゞく木曾路の檜原の傍を、と
ぼくくと辿つてゆく一人の坊さんの姿が、紫色に暮れかゝ
る春の夕暮の中に浮かんで見えます。墨染のお衣に網代笠
汚れた白い風呂敷包を右肩から左の脇へと斜に背負ひ込

もう日は沈んでしまつて、夜の灰色の翹がだんくんと身
に迫つて來ます。坊さんは小手をかざしたり、足をつまた
てたりして、前後左右の眼の届く限りを、物でも探すやう
な熱心さで見やりました。泊めてくれる宿がほしかつたの
です。しかし、其の眼に入るものは薄曇つた空と、蒼白い